

2012年1月27日発行

チーフストラテジスト伊藤嘉洋の 1/30週の相場見通し 一足場固めから上値挑戦へ

今週は、懸念されていたギリシャ国債を巡って政府と民間債権者との減免交渉が合意に近づいたと報じられ、欧州の信用不安の後退により世界的なリスク許容度の回復が期待された。こうした中、欧米株高、ユーロ高により来期以降の業績悪化懸念が和らいだことが投資家心理の改善につながり、日経平均は三角もち合い放れから、一時11/1以来の8,900円台まで上昇した。

欧米株のなかでもNYダウは、昨年5/2(12,876ル)高値以来の水準まで上昇してきた。景気回復期待の持続と、FOMC声明での超低金利政策の長期化を好感したようだ。予想以上の好決算を発表したアップル株価の上昇もマーケットを後押ししたといえよう。

ギリシャの債務減免を巡る政府と民間債権者との交渉は再開されたが、未だ結論には至っていない。ギリシャ国債を保有する民間銀行は、昨年10月に既発債と新発債の交換により50%の国債元本の棒引きを受け入れることで合意した。しかし、既存のギリシャ国債と交換する新たな国債の利率をどのようにするかが焦点となっており、ギリシャが3.5%程度を提示する一方、民間債権者は4%の確保を求め、まだ溝は埋まっていない。30日のEU首脳会議では決着に向けての話し合いが行われる模様であり、もし先送りされても3月の大量償還までには合意せざるを得ないであろう、という楽観論が市場を支配している。もし、交渉が失敗すればEUなどからの融資実行は困難となり、ギリシャ国債がデフォルトに追い込まれる可能性は否定できない。従って、引き続き欧州債務問題が今後のマーケットを左右する構図に変わりはないといえるだろう。

需給面では外国人投資家の動向が注目される。昨年8月から12月までは2兆2,000億円の売り越しであったが、昨年末週から直近までは5,000億円の買い越しとなっている。外資系調査によると、今年1月の海外機関投資家の日本株スタンスはアンダーウェイトの▲28に低下し、売られ過ぎとされる▲30に近づいた。直近の動きからみても、今月の相場反転のきっかけともいえる見直し買いの継続が期待されよう。

テクニカルチャート面では、三角もち合いを上放れ1/16安値8,352円から1/25には8,911円まで6.7%上昇した。各移動平均(5日、25日、75日、100日線)は上向きに転じ、中勢上昇相場の期待は高まってきた。ただ、テクニカル面では25日騰落レシオが120、サイコロジカルラインは9勝3敗となり、やや過熱感が指摘される。

当面、日経平均の上値は10/31の窓埋め(8,988円)や、PBR1倍(9,030円)、200日移動平均線(9,094円)が意識される場所である。これらを前提にすると、日柄調整での足場固めから再度上値を追求展開を想定している。

結論的には、来週の日経平均は上値が200日移動平均線の9,094円、下値は1/19と1/20に開けた下窓8,668円での値固めの動きになると考えている。



来週的主要スケジュール

【日本】

- 1/31(火) 12月完全失業率
12月有効求人倍率
12月鉱工業生産指数
12月住宅着工統計
- 2/1(水) 1月新車販売台数
- 2/2(木) 1月マネタリーベース

【欧米】

- 1/30(月) EU首脳会議
- 1/31(火) 11月米S&Pケース・シラー住宅価格指数
1月米シカゴ購買部協会景気指数
1月米消費者信頼感指数
- 2/1(水) イタリア国債258億ユーロ償還
1月米ISM製造業景気指数
1月米自動車販売台数統計
1月米ADP雇用統計
- 2/2(木) 1月米ICSCチェーンストア売上高
米新規失業保険申請件数
- 2/3(金) 1月米雇用統計
1月米ISM非製造業景気指数
12月米製造業受注指数
ユーロ圏12月小売売上高

OKASAN ONLINE SECURITIES CO.,LTD.

- ・本投資情報は、情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としたものではありません。
- ・本投資情報の掲載情報の正確性・妥当性等について、岡三オンライン証券およびその情報の提供者が一切保証するものではありません。ご投資の最終決定は、お客様ご自身の知識、経験、投資目的、資産状況等に適う範囲で、ご自身の判断と責任で行ってください。
- ・本投資情報によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いかねます。
- ・本投資情報は、いかなる目的であれ当社の許可なく転用・販売することを禁じます。
- ・最終ページの『取り扱い金融商品に関する留意事項』を必ずご確認ください。

【取り扱い金融商品に関する留意事項】

●商号: 岡三オンライン証券株式会社/金融商品取引業者関東財務局長(金商)第52号

●加入協会: 日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会

●リスク:【株式等】株価変動による値下りの損失を被るリスクがあります。信用取引、先物取引、オプション取引および株価指数証拠金取引では投資金額(保証金・証拠金)を上回る損失を被る場合があります。株価は、発行会社の業績、財務状況や金利情勢等様々な要因に影響され、損失を被る場合があります。投資信託、不動産投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等は、裏付け資産の評価額(指数連動型の場合は日経平均株価・TOPIX等)等、先物取引、オプション取引および株価指数証拠金取引は対象指数等の変化に伴う価格変動のリスクがあります。外国市場については、為替変動や地域情勢等により損失を被る場合があります。上場新株予約権証券は、上場期間・権利行使期間が短期間の期限付きの有価証券であり、上場期間内に売却するか権利行使期間内に行使しなければその価値を失い、また、権利行使による株式の取得には所定の金額の払込みが必要です。株価指数証拠金取引では建玉を保有し続けることにより金利相当額・配当相当額の受け払いが発生します。【FX】外国為替証拠金(保証金)取引は預託した証拠金(保証金)の額を超える取引ができるため、対象通貨の為替相場の変動により損益が大きく変動し、投資元本(証拠金)を上回る損失を被る場合があります。外貨間取引は、対象通貨の対円相場の変動により決済時の証拠金授受の額が増減する可能性があります。対象通貨の金利変動等によりスワップポイントの受取額が増減する可能性があります。ポジションを構成する金利水準が逆転した場合、スワップポイントの受取から支払に転じる可能性があります。為替相場の急変時等に取引を行うことができず不測の損害が発生する可能性があります。【各商品共通】システム、通信回線等の障害により発注、執行等ができず機会利益が失われる可能性があります。

●保証金・証拠金:【信用】最低委託保証金30万円が必要です。信用取引は委託保証金の額を上回る取引が可能であり、取引額の30%以上の委託保証金が必要です。【先物・オプション】発注必要証拠金および最低維持証拠金は、「(SPAN証拠金額×当社が定める掛け目)ーネットオプション価値の総額」とし、選択取引コース・取引時間によって掛け目は異なります。当社のWebサイトをご確認ください。また、変更の都度、当社のWebサイトに掲載いたします。【株価指数証拠金取引】発注証拠金(必要証拠金)は、株価指数ごとに異なり、取引所により定められた証拠金基準額となります。同取引所は毎週の第一取引日を算出日として、翌週の取引日に適用される証拠金基準額を算出し、公表します。Webサイトで最新のものをご確認ください。【FX】発注証拠金(必要保証金)は、取引所FXでは取引所が定める証拠金基準額に選択レバレッジコースに応じた所要額を加えた額とし、店頭FXでは取引額の4%とします。発注証拠金に対して1取引単位(1万又は10万通貨)の取引が可能です。発注証拠金・取引単位は通貨ごとに異なります。取引所FXの為替証拠金基準額は、取引所により毎週の最終の取引日から遡る5取引日における取引所為替証拠金取引の為替清算価格の平均値に基づき毎週算出されます。Webサイトで最新のものをご確認ください。

●手数料等諸費用の概要(表示は税込):【日本株】取引手数料には1注文の約定代金に応じたワンショットと1日の合計約定代金に応じた定額プランがあります。上限手数料は、現物ではワンショットが1,260円、定額プランが約定代金100万円以下で上限780円、以降約定代金100万円ごとに420円加算、また、信用ではワンショットが400円、定額プランが約定代金200万円以下で上限が630円、以降約定代金100万円ごとに315円加算します。手数料プランは変更可能です。信用取引手数料は月間売買実績により段階的減額があります。信用取引には金利、管理費、権利処理等手数料、品貸料、貸株料の諸費用が必要です。【上場新株予約権証券】日本株現物のワンショットに準じます。【中国株】国内取引手数料は約定金額の1.05%(最低手数料5,250円)。この他に香港印紙税、取引所手数料、取引所税、現地決済費用の諸費用が必要です。【先物】取引手数料は、日経平均株価先物が1枚につき315円(取引枚数により段階的減額あり)、日経225miniが1枚につき42円です。【オプション】売買手数料は、約定代金に対して0.168%、最低210円です。【株価指数証拠金取引】取引手数料は、1枚につき157円です。【投資信託】お申込みにあたっては、当該金額に対して最大3.675%の申込手数料をいただきます。換金時には基準価額に対して最大0.75%の信託財産留保金をご負担いただく場合があります。信託財産の純資産総額に対する信託報酬(最大2.4525%(年率))、その他の費用を間接的にご負担いただきます。また、運用成績により成功報酬をご負担いただく場合があります。詳細は目論見書でご確認ください。【FX】取引所FX通常コースの取引手数料は1取引単位あたり100円(取引枚数により段階的減額あり)です。1倍コースでは1取引単位あたり1,050円です。店頭FXは無料です。スプレッドは、通貨ごとに異なり、為替相場によって変動します。Webサイトで最新のものをご確認ください。

●お取引の最終決定は、契約締結前交付書面、目論見書等およびWebサイト上の説明事項等をよくお読みいただき、ご自身の判断と責任で行ってください。